

発言No.

5

受付No. 6

令和 5 年 6 月 6 日  
10 時 36 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番 氏名 牛尾 昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員  
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市民の生命・財産の保護について

(1) ミサイル対策について

4月13日午前7時55分、画面を見ていると、ミサイルが午前8時ごろ、北海道周辺に落下すると見られると発令された。これまで日本の上空通過などのJアラートはあったが、北海道周辺落下を予測したのは、初めて。自衛隊のレーダーは、一旦探知したミサイルを消失していたが落下地点を計算、北海道周辺に落ちる可能性があるとして発令した。落下予測時間を過ぎても探知がなく、8時15分、落下の可能性が無くなったと訂正した。一方で韓国軍は追跡していた。

北海道の人達は、自分たちの所へ落下するという発令に肝を冷やされたと思う。この時に私が感じたのは、浜田市だったらどう対応するのだろうかとの疑問であった。

①このような場合の浜田市の対応策を問う。

②よく放送で、ビルか物陰に隠れるように言われるが、なかなか適当な場所が無い。そこで何うが、今年度の新規事業に、若者たちが家を建てる場合の上乗せ補助金がある。この部分を使ってシェルター建設が出来るような制度に出来ないかを問う。

③次に、今年度の事業に、美川小学校新築事業・周布川防災拠点整備事業などがある。これからの新たな建築物は、シェルターを併設・建設してはどうか問う。

(2) 災害対策について

①桑田龍三先生によると、今年は、明治5年の浜田地震から数えて151年目だそうである。特に、今年は全国で地震が多発していて、心配である。浜田市の対策を問う。

②6月4日の防災訓練は、多くの苦情があった。原因を問う。

### (3) クマ対策について

5月はこんな所にクマがというほど、市の中心部に現れた。紺屋町でも、ある朝、パン・パンと二度銃声がしたので、家内にクマが出たぞと声掛けすると、笑われてしまった。実際は、クマが今宮神社の石段を降りてきて、大騒ぎになったのである。市内の人達は、このような遭遇に慣れておらず、事故が心配である。対策を問う。

### 2、農業の行く末について

①農林水産省によると、「基幹的農業従事者」は、2020年に136万人と10年前に比べて約70万人減り、65歳以上が7割を占めるそうである。自給率も37%と過去最低である。最近の紙面をみると、浜田市民の方々の投書で「危機的な農村に目を向けて」・「米づくりに希望が持てる世に」とあり、議会報告会では、「5年、10年後はどうするの？」など、地域の行く末を心配する声がある。対策を問う。

②小国では、「オーガニックヴィレッジ宣言がよくわからない。詳しく説明して欲しい。」と言われた。特に、ケーブルテレビで放映される一般質問で、市長に説明をして欲しいとの要望があった。市長に問う。

③美川地区では、「農業振興基金事業の農業経営体育成支援事業が無くなり苦労している。復活して欲しい。」との要望を聞いた。対策を問う。

④都川では、「棚田百選に選ばれた棚田の維持・保全活動の補助金が打ち切られる。なんとかしてくれ。」と言われた。支援策を問う。